

2018 まちづくりアドバイザー活動事例集

【北 区】	(担当：西原 秀倫)
学区まちづくりビジョン.....	1
北区つながるワークショップ.....	1
【上 京 区】	(担当：松井 朋子)
上京！MOW 発 上京空き家対策ラボ.....	2
名水「滋野井」を地域の宝に!!～滋野井井桁移設プロジェクト～	2
【左 京 区】	(担当：大塚 敏之)
地域活性化プロジェクト「左京×学生 縁ねっと」.....	3
みんなでつくる左京朝カフェ～朝からつながるまちづくり～.....	3
【中 京 区】	(担当：深川 光耀)
「こどもと行こう！祇園祭 2017」のアクション創出のサポート.....	4
中京マチピトライター講座.....	4
【東 山 区】	(担当：加藤 ゆうこ)
多様な主体と共に「こどものまち」を実現するサポート.....	5
区民ゲストを紹介するテーマ型カフェ事業の開催支援.....	5
【山 科 区】	(担当：佐藤 友一)
山科“きずな”支援事業における採択団体に対するフォロー.....	6
「山科子ども・若者未来トーク」の継続実施.....	6
【下 京 区】	(担当：天岡 昌代)
下京アフターアワーズ.....	7
松原通界隈活性化事業・地域の名物「松原パン」の開発.....	7
【南 区】	(担当：山本 一貴)
はぐくみの森プロジェクト（子育て支援ルームの充実）.....	8
みなみくらべる地図（新たな文化観光資源の創出）.....	8

【右京区】	(担当：朝倉 眞一)
学区を越えてつながろう、「井戸端カフェ」	9
葛野学区での自治会町内会加入促進に向けたサポート	9
【西京区】	(担当：田尾 純子)
地域力サポート事業補助金	10
西京結び	10
【西京区洛西支所】	(担当：吉田 泰基)
大原野食育体験ツアーの開催	11
洛西支所 1 階ロビー「子育て支援スペース」づくり	11
【伏見区】	(担当：亀村 佳都)
横大路学区地域力アップ学区活動連携支援事業	12
伏見区区民活動支援事業	12
【伏見区深草支所】	(担当：白水 育世)
『深まるねっと 2017』（地域福祉編）の事業企画運営	13
官民協働でつくる「高松橋ひろば」事業の運営支援	13
【伏見区醍醐支所】	(担当：谷 亮治)
醍醐フィールドワークプロジェクト	14
職員オフ	14

学区まちづくりビジョン

【事業概要】

学区民と区内の大学が連携し、学区の将来像や取組を描く「学区まちづくりビジョン」。北区内の全18学区で策定を目指す中、今年度は3学区で策定しました。上賀茂学区では、自然、文化、住環境など豊かな地域資源を継承する取組、衣笠学区では、住民も大学生もみんなが関われる交流の場づくり、鳳徳学区では、あたりまえに営まれてきた地域活動を続けていく仕組みづくりなど、学区ごとの特性を活かしたビジョンづくりに取り組みました。



【役割／関わり方】

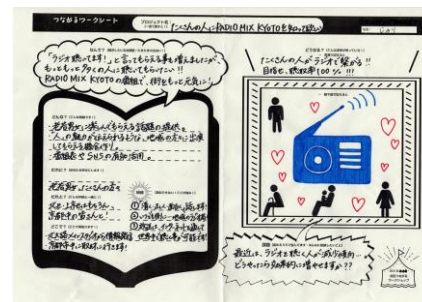
学区内の機運を高めるための、仕組みづくりと多様な主体の連携を支援しました！

- 学区と大学が連携して取り組むための、課題整理と仕組みづくり。
- 学生への講座やWSの運営補助など、対話の場づくりをサポート。
- 多くの学区民が共感できる、デザインなど編集へのアドバイス。

北区つながるワークショップ

【事業概要】

北区のまちにつながるのある人が集い、楽しみながらまちを豊かにすることを目指して、北青少年活動センター・北いきいき市民活動センター・北区社会福祉協議会・北区役所が連携し、2014年から交流の場づくりを進めてきました。今年度は新たに『つながるワークシート』を作成し、参加者同士が深く理解しあい、連携が生まれる仕組みを整えました！



【役割／関わり方】

多様な主体が連携できる環境づくりに取り組みました！

- 運営に関わる機関の強みを活かせる環境づくり
- ファシリテーターとして全体進行や対話の促進
- プログラムやつながるワークシートの企画やアドバイス

【上京区】

上京！MOW 発 上京空き家対策ラボ

【事業概要】

“みんなごとで進めよう”空き家プロジェクトの一環で、平成29年度上京！MOWにおいて法律・不動産・建築・片づけ・まちづくり・行政に関わりのある団体が空き家の問題解消、予防活動を目的に専門家チームとして結成されました。空き家問題へとつながる家族の問題に事前に気づき、予防する知識を身に付ける講座を企画開催しました。



【役割／関わり方】

チームとして機能するための企画会議の進行、アドバイス

- 企画会議の進行
- 事業の企画，運営，企画アイデア出しでのアドバイス
- 講座司会進行
- 広報協力：チラシ配架協力とイベントページ作成

<https://www.facebook.com/events/385582655222318/>

名水「滋野井」を地域の宝に!!～滋野井井桁移設プロジェクト～

【事業概要】

京の七名水の一つとされる滋野井の井桁は民家で保存されていましたが、滋野学区に寄付され地域の宝として保存されることになりました。地域のシンボルとして後世へ守り伝えるため、滋野井の歴史、水文化を調べて地域で発表し、多世代に井桁の存在をPRするためにかみぎゅうくんとコラボするなど、様々な取り組みを実施しました。



【役割／関わり方】

地域への普及啓発に係るアドバイスと、地域と各種専門家等とのコーディネート

- 普及啓発に関するアイデア出しとアドバイス
- 企画・運営に関するアドバイス
- 企画実施に係る各種専門家とのコーディネート、調整
- 広報協力：上京ふれあいネット カミングでの広報

この事業を担当したアドバイザー 松井 朋子

【左京区】

地域活性化プロジェクト「左京×学生 縁ねつと」

【事業概要】

左京区では、学生のあふれるパワーを地域のまちづくり活動につなげるため、NPO法人と社会福祉協議会との協働で、ボランティアをしたい学生と、ボランティアに来て欲しい地域とを結びつける事業を運営しています。

大学での説明会をはじめ、フェイスブックやLINE等を活用した広報を通じて、多くの学生が地域のイベントや鞍馬火祭等の伝統行事、北部山間地域の雪かきなど、さまざまな場所で活躍してくれています。



【役割／関わり方】

複数の主体による協働事業の企画・運営

- 事業の企画運営と方向性に関するアドバイス
- 地域と学生とのマッチングとその仕組みづくり
- 地域における学生の受入れ支援と活動サポート

みんなでつくる左京朝カフェ～朝からつながるまちづくり～

【事業概要】

左京区では、区民主体のまちづくり活動を支援する取組として、「左京朝カフェ」を開催しています。

左京のまちづくりに関心のある区民が気軽に集い、ワークショップ形式のざっくばらんな対話を通じて、新しい仲間やまちづくり活動のアイデアと出会います。平成29年度も、区民スタッフと協力して企画運営を行い、参加者同士が“つながる”ことから生まれる多彩な活動とその盛り上がりをサポートしました。



【役割／関わり方】

区民によるまちづくり活動のコーディネート

- 事業の企画運営と方向性に関するアドバイス
- 参加者の相互交流、継続的なつながり作りのサポート
- 参加者からの相談対応

【中京区】

「こどもと行こう！祇園祭 2017」のアクション創出のサポート

【事業概要】

幼少期から伝統・文化に触れられる機会の創出とそれを通じた成長を願う、コドモト（市民活動団体）による「こどもと行こう！祇園祭 2017」の創出を、中京クーチャーセンターを通してサポートしました。

この取組は、祇園祭開催期間中に、まちの各所に授乳・オムツ替え・休憩ができる「こどもステーション」を開設すること等により、子連れでも参加しやすい環境の創出を図るものです。

本取組の実現においてコドモトは、①活動資金の確保、②運営体制づくり等を課題としていました。そのため、クーチャーセッションを開催し、これらの課題解決につながる主体とのマッチング等を行い、「こどもと行こう！祇園祭 2017」の実現を後押ししました。



【役割／関わり方】

中京クーチャーセンターのディレクターとして、アクションの創出を支援

- 取組のプラスになる主体のマッチング
(京都市ソーシャルイノベーション研究所, 京都信用金庫)
- クーチャーセッションでのファシリテート
- 実施効果の把握を目的としたアンケートの作成・集計に対するアドバイス

中京マチビトライター講座

【事業概要】

学区・NPO・個人のスキル向上による地域の情報発信力の醸成を目的として「中京マチビトライター講座」を開講しました。講座では、京都新聞社の記者石崎立矢氏を講師に、①文章の書き方、②取材・インタビューのコツ、③撮影のコツといった学びを提供しました。

さらに、中京区発行のフリーペーパー「中京マチビト来たる。」の製作の場を設けることで、講座修了生（希望者）に、取材、編集、デザイン、発行といった一連の流れを経験してもらう実践的な機会をつくりました。



【役割／関わり方】

講座の開講及び運営全体に関するサポート

- 講座時にファシリテーターとして、講師の進行を補助
- 講座プログラムに対するアドバイス
- 「マチビト来たる。」編集会議の進行サポート

中京区担当アドバイザー 深川 光耀

【東山区】

多様な主体と共に「こどものまち」を実現するサポート

【事業概要】

子ども達により深く「まち」を考えてもらうため、企画段階から NPO や大学生の協力を得て約半年のこども会議を運営し、「第7回東山こどものまち」を創っていきました。

当日は、子ども達がのびのびと過ごせるように「こどものまち」会場と、多世代が交流できる「交流スペース」を分け、保護者や地域の人には、まちを探訪するツアーの参加者として「こどものまち」を体験してもらいました。



【役割／関わり方】

NPO や大学生等、子どもを取り巻く多様な主体が意見を言い合えるよう調整しました。

- 企画段階から協働した NPO と区との連携に寄り添い、互いの想いを補足することに務めました。
- こども会議の終了ごとに大学生スタッフとの意見交換会を開き、「教えずに、やってしまわずに、いかに学生が主体的に関われるか」、毎回気持ちを引き出しました。
- 当日の保護者・地域向けのツアーをガイドし、事業の説明や、子ども達へのインタビューをおこない、「なるほどカード」を記してもらうなど、大人にもまちづくりを考えてもらう機会としました。

区民ゲストを紹介するテーマ型カフェ事業の開催支援

【事業概要】

初の試みとして各回にテーマを設定し、区民ゲストによる活動紹介をもとに議論を深めるワークショップを開催しました。「学生が地域で活動すること」「からだづくりとまちづくり」「子ども達のために地域ができること」のテーマで、ゲストの活動紹介と、関連する情報提供をおこないました。学区を活動範囲とするゲストの回では、元白川小学校（旧栗田小）を利用し、地域の団体や高齢の区民にも参加していただきました。



【役割／関わり方】

テーマや会場に合わせたゲスト、関係各所とのコーディネートを担当しました。

- これまでのカフェ事業の課題に対応し、担い手や地域福祉への学びを意図したテーマ設定をおこない、区の関係部署や外郭団体等にも協力を呼びかけました。
- ゲストの推薦、ゲストや関係団体との事前・事後打合せ等のコーディネートをおこない、当日のトークセッションでのインタビューや情報提供を担当しました。
- 教育委員会や地域団体の協力を得て元小学校を会場とし、近隣の地縁団体やまちづくり支援事業採択団体、地元 NPO らと連携したカフェ開催を実現しました。

この事業を担当したアドバイザー 加藤 ゆうこ

【山科区】

山科“きずな”支援事業における採択団体に対するフォロー

【事業概要】

「山科“きずな”支援事業」の採択団体へのアンケート等で見えてきた課題（仲間集めやメンバーの確保、資金の確保、広報戦略など）について、その解決方法を学ぶ「まちづくり講座」を平成27年から開催してきました。



しかし、他の公共施設等でも、同種の講座を受講できる機会が多くなってきていること等を踏まえ、今年度からは、講座の代わりに「中間報告会（兼交流会）」の場を新たに設け、活動団体同士の交流・対話を通じて、広報の協力や活動のノウハウを相互に教え合うよう働きかける取組に切り替えました。

新たな交流やコラボ事業の成立などの動きが生まれており、今後、さらに対話により各自が活動を客観視し、学び合いが始まることを期待しています。

【役割／関わり方】

きずな支援事業の一連の流れの中でのフォロー

- 申請時の事前相談は全団体必須となり、区役所の職員とまちづくりアドバイザーとで申請書を見る視点を変えて、客観的なアドバイスができるように努めました。
- 団体同士の対話の場を増やすようにコーディネートしました。
- 市民しんぶん山科区版における「きずなりレー」で活動を取り上げ、事業の進捗状況の把握に努めています。

「山科子ども・若者未来トーク」の継続実施

【事業概要】

平成27年度から始まった「山科子ども・若者未来トーク」は、子どもに関連する専門職やNPO、行政メンバーなどが、お互いの信頼関係の基に情報交換したり相談したりする場を目指して運営しています。今年度は、「山科でファミリーホームを作りたい」という声に応え、ファミリーホームの先駆者として全国的に有名な土井高德先生の講演会を実施しました。また、未来トークの参加者同士が交流を深めることで、普段の業務や活動の中でどのように相談を受けているかを知るきっかけを生み出す場にもなっており、お互いの専門領域をつなぐようなネットワークになりつつあります。



【役割／関わり方】

対話の場の企画や新たな参加者の巻き込み

- お互いの信頼関係を深めることができるプログラム作成に協力しています。
- 新たに参加してくれそうな人への声かけをしています。
- 参加者の思いを出発点とする新しい企画が生まれるように努めています。

この事業を担当したアドバイザー 佐藤 友一

【下京区】

下京アフターアワーズ

【事業概要】

下京区の旬な人・モノ・場所を舞台に、地域の魅力を活かして活動する方々をゲストとして迎えて、その体験を共有し、ゲストと参加者、参加者同士の交流を促し、参加者同士の繋がりや創出、起業マインドの醸成、地域の価値の再発見を目指しています。



今年度は、身近でありながら行く機会がなかなかないお寺、エキニシ地域で活発に活動する若手の紹介、芸大移転で盛り上げる地域にある kaikado Cafe で行いました。

- ①平成 29 年 8 月 30 日「お寺を楽しむこと」龍岸寺
- ②平成 29 年 12 月 14 日「いま、エキニシがおもしろい」KYOCA 会館
- ③平成 30 年 3 月 12 日 kaikado Cafe

【役割／関わり方】

事業内容の決定、ゲストの選定、開催場所の選定、当日のプログラムの構成

- 昨年度からの継続事業。今年度の目標の設定。
- テーマ設定、ゲストの選定と紹介など事業の全般にわたって関わりました。
- 当日のプログラムの設定
- ゲストと参加者との交流時間、参加者同士の交流時間の進行を担当

松原通界限活性化事業・地域の名物「松原パン」の開発

【事業概要】

洛央小学校を形成する七つの元学区の有志が集まって「地域の繋がりづくり」「地域の歴史文化の継承」に取り組む松原通界限活性化活動プロジェクト委員会の活動支援を行っています。

「松原通にしかないもの」「地域イベント「松原通の駅」でしか買えない名物」を松原通の知名度向上のために作りたいという委員の方の声を聞き、全国屈指のパン消費量を誇る京都市ならではのものとして、地域の有名パン店と一緒に地域のパン「松原パン」を共同開発しました。地域の方に馴染んでもらうために、平安時代に松原通（五条大路）に住んでいた貴族の名前「俊成」（藤原俊成）、「行平」（橘行平）、「五条松原」（松原通は平安時代の五条大路だったという意味）と名付けました。



【役割／関わり方】

松原通界限活性化活動プロジェクト委員会の活動支援。助言。

- 名物を何に設定するのかの助言。人気のあるもの、インパクトのあるもの。
- 地域の人×地域のお店。地域に拘るといふことの重要性。
- 試食会の運営。
- 広報宣伝機関との連絡など。

この事業を担当したアドバイザー 天岡昌代

【南区】

はぐくみの森プロジェクト(子育て支援ルームの充実)

【事業概要】

平成17年度から、南区子ども問題連絡会、南区社会福祉協議会、南区役所が協働し、子育て支援ルーム「すくすくみなみ」を区役所に隣接する公共施設内に開設し、ボランティア団体等の見守りのもと運営しています。

今年度、さらに居心地の良い場所となるよう、区内でアートの種まきに取り組む団体の協力のもと、ほぼ切り出したままの樹木からなる「はぐくみの森」をつくりました。これからみんなで森を育てていけるよう、手形葉っぱを貼り付けるなど、多くの人が関われる工夫がなされています。



【役割／関わり方】

関連する事業の企画立案、多様な協働主体間のコーディネート

- 南区民ふれあいカフェ「みなみなみなみ」と連結し、すくすくみなみをより良くするためのアイデアを出し合う機会の企画立案や運営を支援しました。
- 事業の協働主体として「アートの種まき クミプロジェクト」をコーディネートするとともに、問題の整理と課題の設定について助言や提案を行いました。
- 多様な主体（クミンPJ、南子連、南区社協、南区役所子どもはぐくみ室・地域力推進室等）の連携のもとでより良く進むように、企画、設計や施工、運用について、助言や提案を行いました。

みなみくらべる地図(新たな文化観光資源の創出)

【事業概要】

南区では、活力のあるまちを目指して、新たな文化観光資源の創出に取り組んでいます。今年度は、平成27・28年度に作成したアプリ、南区観光AR「西寺・羅城門」の利用促進を図るとともに、地域のもつ多彩な魅力を広く発信することを目的に、南区観光マップ「みなみくらべる地図」の作成に取り組みました。

マップは、現代と明治期の2種類を作成し、南区の今と昔をくらべるができるようにしています。また、紙とウェブの両媒体で提供できるようにもしています。地図を手に南区を旅して回ることで、このまちのファンが増えることを願っています。



くらべる①-区+トラベル
くらべる②-今と昔をくらべる。手の中の地図と目の前の風景をくらべる。
くらべる③-みなみくらべる

【役割／関わり方】

これまでの事業を引き継ぎつつ、新たな事業の企画立案の支援

- 事業全般の方向性に対して助言や提案を行いました。
- 南区役所と協働主体とのマッチングを行いました。
- 作成地図の企画内容や進め方に対して助言や提案を行いました。
- 地図の名称とそのコンセプトをデザインし、提案しました。

この事業を担当したアドバイザー 山本 一貴

【右京区】

学区を越えてつながろう、「井戸端カフェ」

【事業概要】

「井戸端カフェ」は、地域活動に関する課題解決に向けて、右京区内の学区を越えたみなさんで情報交換・意見交換をする場です。自治会・町内会に関する課題や問題点、課題解決に向けた取組のヒントを話し合うとともに、学区を越えた地域のつながりづくりを進めています。

地域での活動報告、京都光華女子大学の学生チームの活動報告の後、主に若い世代の自治会・町内会加入促進に向けて話し合いました。それぞれの学区や町内の現状を交えた意見交換を通じて、お互いに学区を越えた右京区という広い視野で地域課題を考えていけるよう運営を進めています。



【役割／関わり方】

右京区の地域コミュニティの現状と課題を俯瞰し、課題解決につながる交流の機会づくりに向けた企画立案、実施をサポート

- 意見交換を効果的に進めるための企画立案、運営面でのアドバイス。
- 右京区の現状把握のための資料整理、地域の個性を反映したプログラムの設定。
- ワークショップの準備、当日のファシリテーション。

葛野学区での自治会町内会加入促進に向けたサポート

【事業概要】

葛野学区では、平成 28 年度から自治会・町内会の活性化に向けた取組に力を入れています。

29 年度は、町内会運営についてのアンケートを実施して町内会長間で情報共有を図りました。また、学区内のマンションの実態調査、子育て世代の自治会・町内会に関する意識調査を実施し、これらの結果をもとに、子育て世代の加入に向けて町内会長を中心にワークショップ形式で意見交換を行いました。30 年度も、学区単位からより細かな町内単位での地域コミュニティ活性化の取組を進めます。



【役割／関わり方】

学区の活動に深く関わり、自治会加入促進に向けた企画立案、実施に向けたサポート

- 学区の中で活動を進めるにあたっての企画立案、運営面でのアドバイス。
- 学区の現状把握に向けた統計資料の整理、他地域の取組をまとめた事例集の作成。
- ワークショップの企画立案や準備、当日のファシリテーション。

【西京区】

地域力サポート事業補助金

【事業概要】

西京区では、区基本計画を推進するため、区内で活動を行う団体による自発的、主体的なまちづくり活動の経費を補助する「西京区地域力サポート事業補助金」を実施しています。平成29年度は、36件の活動への補助金交付が決定されました。



【役割／関わり方】

事業の企画・運営の支援

- 交付団体に対して、アドバイスや情報提供を行いました。
- 交付団体の活動（イベント等）を視察、運営補助を行いました。
- 補助金制度運営にあたっての企画・提案を行いました。

西京結び

【事業概要】

平成28年度にとりまとめられた「西京区・洛西地域の新たな活性化ビジョン」のテーマの一つ「つながりを育てる」の具体化として、西京区内でまちづくり活動をしている人や団体をつなげ、地域の活性化を担う新しいつながりを構築する「西京結び」を実施しました。5回のワークショップを通じて、参加者それぞれの思いを出し合い、チームを作りました。



【役割／関わり方】

事業の企画・運営の支援

- 事業の企画・運営に対するアドバイスを行いました。
- 事業委託の公募に向けた準備に対して、アドバイスや支援を行いました。
- 「西京結び」で生まれたチームの活動に対して支援を行いました。

【西京区洛西支所】

大原野食育体験ツアーの開催

【事業概要】

農林水産省の交付金を活用し、京野菜の産地である大原野で、子育て親子を対象にした食育体験ツアーの開催をサポートしました。

今年度は4回開催しましたが、各回のツアーではにんじんや葉物野菜など、それぞれの季節に応じた旬野菜の収穫体験と、収穫した野菜を使った昼食づくり、食育クイズ、田園風景を知ってもらうドローンの飛行体験、竹箸づくりなども実施しました。

ツアー開催後、野菜嫌いの子どもが野菜を好きになり、よく食べるようになったなど、うれしい感想をいただきました。



【役割／関わり方】

食育体験ツアーの企画及び運営のサポート

- ツアー開催に向けた企画会議のサポート
- ツアーの開催準備作業のサポート
- ツアー当日の運営サポート

洛西支所 1階ロビー「子育て支援スペース」づくり

【事業概要】

京都府の森林環境税の交付金を活用し、洛西支所 1階ロビーに市内産木材を使った子育て支援スペースを設置するプロジェクトをサポートしました。

どのような子育て支援スペースがいいのかを検討するため、洛西地域の子育て関係者が集まり、合計3回のワークショップを計3回開催しました。レイアウトや遊具、運営方法など様々な立場から活発に意見を出し合っていました。

ワークショップでの意見を基にレイアウトが決まり、3月にスペースが完成しました。3月3日（土）のオープン当日は、セレモニーのほか、永田萌こども未来館館長による絵を使った遊びのイベント、地域の子育て支援団体による絵本の読み聞かせや工作等のプログラムが実施されました。



【役割／関わり方】

地域の子育て関係者等が参加する「子育て支援スペース」づくりのトータルサポート

- 地域子育て関係者参加によるワークショップの企画サポート
- ワークショップのファシリテーターなど、運営のサポート
- オープニングイベントの運営サポート

この事業を担当したアドバイザー 吉田 泰基

【伏見区】

横大路学区地域力アップ学区活動連携支援事業

【事業概要】

横大路まちづくり協議会は今年度から3年間、当事業のモデル学区として京都市、伏見区、地域コミュニティコーディネーターと協働して地域力アップに取り組んでいます。

今年度は会議や自治会役員へのアンケート、住民や事業者など約90名が参加したワークショップなどを行い、横大路の持ち味や課題を共有した上で、自治会加入促進のための学区紹介冊子を作りました。



【役割／関わり方】

- 企画会議の進行補助。
- 横大路21世紀まちづくり塾でのワークショップテーブル進行。

伏見区区民活動支援事業

【事業概要】

伏見をより暮らしやすい魅力あるまちにするために、区民主体のまちづくり活動や地域課題の解決に向けた取組を支援する区民活動支援事業。従来的一般枠、小規模枠に加えて平成29年度は重点支援事業（子どもの貧困対策等、健康長寿、地域防災）が新設され、合計51件の事業が採択されました。

活動団体と接する中で、支援事業に採択されたことで行政や他団体とのつながりができた。また、広く広報ができたり、活動の初期に支援が得られることで活動がしやすくなった等の声を聞きました。



【役割／関わり方】

主体的な区民活動のサポート

- 申請相談。申請者の思いが伝わる申請書の書き方等のアドバイス。
- 募集説明会・事業審査会などの運営補助。
- 採択団体のフォロー、インタビュー。採択されて良かったことや、活動の悩みを伺って採択後の活動をサポートしました。
- 活動事例集のための原稿取材。

この事業を担当したアドバイザー 亀村 佳都

【伏見区深草支所】

『深まるねっと2017』(地域福祉編)の事業企画運営

【事業概要】

「地域福祉」をテーマに5回の連続講座で開催しました。少子高齢化を迎え担い手不足に悩む地域において、今後地域活動や福祉サービスを持続可能な形で担っていくために必要な地域内外の資源の活用の仕方・多様な組織と連携して運営する仕組み・次世代人材育成の方法について学びました。



また今期は、ファシリテーショングラフィックを導入。イベントの様子を全可視化することで、参加者にとってわかりやすく、話しやすい場づくりを行いました。

【役割/関わり方】

まちづくりカフェ事業の企画運営サポート。多様な参加者が集まりやすい仕掛けづくり

- 事業全体の計画づくりとマネジメント
- 事業の企画立案・助言
- 事務局会議の進行
- 開催当日の進行とワークショップ運営
- 各関係者との連絡調整
- 広報支援（情報発信/開催報告）

官民協働でつくる「高松橋ひろば」事業の運営支援

【事業概要】

鴨川運河(琵琶湖疏水)に架かる高松橋が新しく架け替えられたことを機に、南側の敷地を「憩いと賑わいの広場」として活用しようと、深草支所主催のもと、地域住民・学校・企業が協働する形で広場の整備事業を行いました。活用策や整備案を話し合うワークショップを2回開催した後、現場で植樹や明治期のレンガを再利用したステージ作りなど、5回の取組を実施。



3月24日には広場の仮オープンを記念しイベントも開催しました。今後は『高松橋ひろばづくりの会』が主体となり、広場の維持管理を行うと共に、住民が集える仕掛けづくりも検討していく予定です。

【役割/関わり方】

住民が主体となって取組めるよう、企画と場づくりのファシリテート。

- 事務局会議の進行
- ワorkshopおよび整備活動の運営支援
- 住民同士の関係づくりと主体性・やる気を促進する場づくり
- 各関係者との連絡調整
- 情報発信

この事業を担当したアドバイザー 白水 育世

【伏見区醍醐支所】

醍醐フィールドワークプロジェクト

【事業概要】

醍醐地域の人材発掘、地域活動の実態把握、活動家のネットワーク形成を狙いとして、取材活動を行っています。運営は醍醐いきいき市民活動センター、市民活動団体「伏見情報局」との連携で行っています。取材成果はウェブサイト及び広報誌にて広く知らしめています。この取材活動を通じて、既存活動のサポートができたり、新しいまちづくりプロジェクトが生み出されたりしています。



【役割／関わり方】

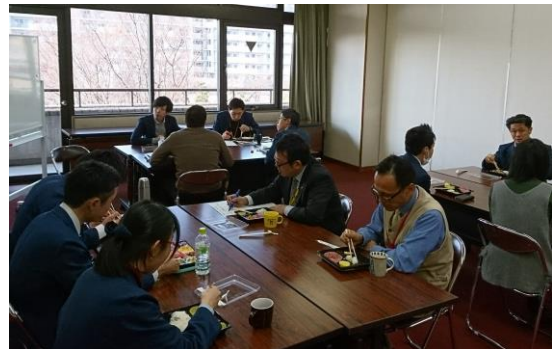
醍醐フィールドワークプロジェクト運営全体のサポート

- 編集チーム結成段階のコーディネート
- 取材活動の方針や方法検討段階の助言
- 記事編集作業の助言

職員オフ

【事業概要】

組織運営をしていると、しばしば部署を超えたつながりは希少化しがちです。そのため、連携が不足したり、非効率が発生したりすることがあります。そこで醍醐支所では、部署を超えた職員同士の情報共有や、連携のきっかけづくりのため、職員交流会を企画しています。堅苦しい雰囲気にならないようオフ会のようなカジュアルなプログラム作りが心がけられています。ここでの交流から、これまでになかった交流プロジェクトが生まれています。



【役割／関わり方】

職員オフの運営全体のサポート

- 企画の立案補助
- 会議の場のファシリテート
- 会議から生まれた新しい議題のフォローアップ

この事業を担当したアドバイザー 谷 亮治